

## 「現場技術者能力向上セミナー」<CPDS認定講座>

### 開催のご案内

建設投資の縮減等による厳しい時代が続く中、建設現場における現場革新および現場総合力の向上は必要不可欠です。また、コンクリート構造物の診断技術の向上や維持管理に向けた専門技術の向上も重要であると確信しています。

その中で今回は建設現場で中心的な役割を担っている現場技術者および関係者、建設業関連に携わっている方を対象としました「現場技術者能力向上セミナー」を企画しました。ぜひご参加、ご活用して頂きますよう、よろしくお願いたします。

なお、本セミナーはCPDS対象セミナーとして、(社)全国土木施工管理技士会から認定をいただいております。  
<留萌建設協会 会長 堀口 亘>

- 1 開催日時：平成24年1月30日(月) 10:00~16:00
- 2 開催場所：留萌建設協会(留萌市寿町2丁目)
- 3 参加対象者
  - ◇ 現場技術者および現場施工に携わっている方
  - ◇ その他、建設業関連に携わっている方
- 4 受講料：無料 (CPDS：4~5ユニット予定)  
※受講終了後に「CPDS受講証明書」をお渡しいたします
- 5 講座の内容および講師
  - (1)「コンクリート構造物の劣化・変状と発生メカニズム」  
講師：北海道コンクリート診断士会 木村 博史 氏
  - (2)「コンクリート構造物の調査・診断技術」  
講師：北海道コンクリート診断士会 大内 義仁 氏
  - (3)「これからの現場技術者に求められるもの  
~現場技術者のリーダーシップの発揮とコミュニケーション手法~」  
講師：株式会社クラーク総研 代表取締役 前田 正秀
  - (4)「これからの現場技術者に求められるもの  
~現場技術者の組織運営と部下育成手法~」  
講師：株式会社クラーク総研 代表取締役 前田 正秀

#### < 1/30 現場技術者能力向上セミナー 参加申込書 >

会社名： \_\_\_\_\_ 電話番号： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

#### ○ 申込方法

参加希望者は、平成24年1月25日(水)までに、参加申込書にご記入し、FAXにてお申込ください

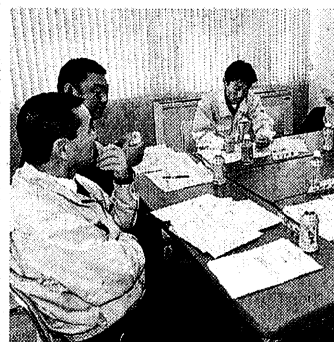
#### ○ 申込先

株式会社クラーク総研 FAX 011-518-1188

#### ○ 問い合わせ先

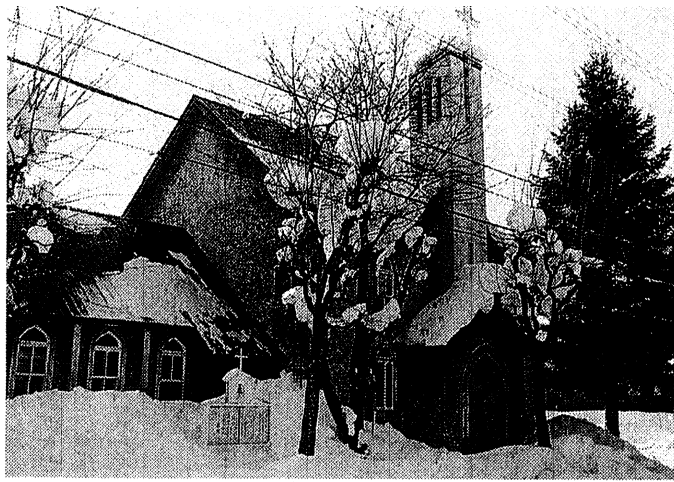
株式会社クラーク総研(鈴木) TEL 011-518-1121

術交流会



設計グループによるグル

【旭川】上川調査設計会（千葉新次会長）は30日、上川合同庁舎旭川建管との技術交流を開いた。協会と建管技術者ら約70人が参加。設計と用地のシグアップに分かれ、想定した設計変更に対して協議したり、業務発注前の地元説明を要望した。設計グループでは昨年



迫された。戦後、旭川のキリスト教伝道の足色濃く残した宗教建築、積雪の重みに耐えるための洋風小屋組に斜を用いるなどの構造的特徴を評価。これまでは

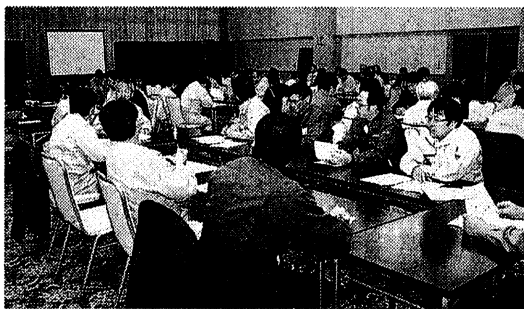
旭川バプテスト教会堂を評価し、この活動を公表するため特別表彰に至った。

入でクローラ運搬は計上されていたが、現地の状況から人肩運搬が必要だった。「橋脚補修設計で横断測量のほかに堤内排水の現況測量が不可欠だった。場合など想定された変更協議について、発注者、設計者、施工者がそれぞれの立場から意見を述べた。

地元説明し円滑に測量を行えるよう求めたが「業務は2月に各出張所の担当と協議し発注時期を決め、発注前に2月段階からの状況変化を確認し発注している。発注前に出張所の担当と十分に協議し業務に支障がないよう対応していく」と答え

効率的な現場運営に向け

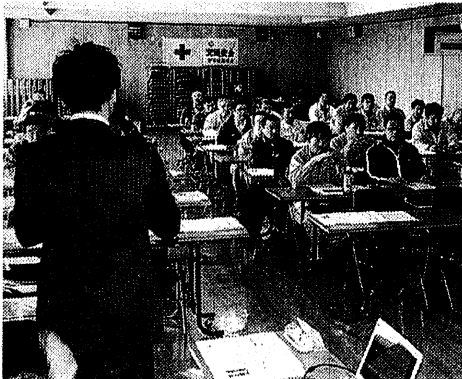
留萌建管と留萌建協が意見交換



意見交換を行う受発注双方の現場担当者たち

【留萌】留萌建管と留萌建設協会は1月30日、はばろ温泉サンセットプラザで留萌中部・北部地区合同で監督員と現場代理人との意見交換会を開いた。約60人が、六つのグループに分かれ、効率的な現場運営などに向けて討議したほか、提出書類の簡素化や現場における工事の円滑な進行について話し合った。

五十嵐一哉遠別出張所長のあいさつに続き、留萌建管の原俊郎地域調整課主任が工事検定の際の留意事項、関栄作羽幌出張所主任が稚内天塩線の天塩河口大橋の補修を事例に橋梁長寿命化修繕計画の注意点を説明した。この後、グループ討議に入り、提出書類の簡素化などをテーマに意見交換。「写真帳の整理は監

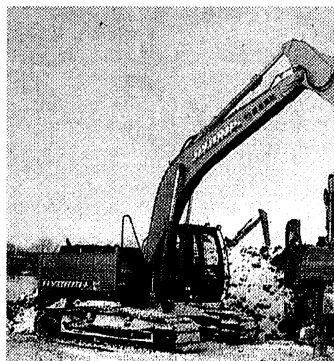


呼び掛け、田中表道建設あったが、町民からの除(20)0003まで。る岩見沢(ポルタビル

ハイブリッド ショベル

錦産業 環境に優しい

【稚内】錦産業（本社・稚内）は、日立建機の20



少級ハイブリッド油圧ショベル「ZH200LC」を導入した。すでに標準型の「ZH200」の導入企業はあるが、クローラ全長が長いLCタイプは道内で初。1月30日に声問川河川改修の現場で活躍し

コンクリートの診断手法学ぶ

留萌建協が能力向上セミナー

【留萌】留萌建設協会は1月30日、留萌建設会館でCPDS認定の現場技術者能力向上セミナーを開いた。クラック総研（本社・札幌）の協賛を受けたもので、17社から現場担当者ら約50人が出席し、コンクリート構造物の劣化や診断技術、現場技術者のリーダースhipなどについて学んだ。冒頭、堀口巨会長が「厳しい状況が依然として続いている。技術者が能力を磨き、各社の基礎体力を向上させることで乗り越えてほしい」と呼び掛けた。

続いて、道コンクリート診断士の木村博史診断士がコンクリート構造物の劣化・変状と発生メカニズムについて講義。同会の大内義仁診断士がコンクリート構造物の調査・診断技術を解説した。前田正秀クラック総研社長が「これから現場技術者に求めら

れるもの」と題してリーダースhipや組織運営などについてそれぞれ説明した。受講者たちは、コンクリート診断の際の目視調査のポイントや現場におけるコミュニケーションやコーティング手法などについて聴き入っていた。

員森社長は「次世代のためにCO<sub>2</sub>削減に積極的に取り組むたい。今後、他の機種でもハイブリッド化など環境対応されたら導入していく」としている。

道路現況図作成 今週中にも公告

稚内開建

【稚内】稚内開建は、役務の「稚内開建設部道路現況図作成」を今週中にも公告する。入札は3月上旬を予定している。

率化を図る 大起建設株 一日をもつとこれを契を強化し、らびに社会すので、今援を賜りま、まずは、ご挨拶申し

平成二十



北

代表 専務 常務 取 取 取 取 本 社 千 72 札幌支店 千 041 道北支店 千 070 リサイクル千 072 ロドセンター

社会の発展を願って